

高石消防署(高師浜出張所)改築工事設計業務委託 特記仕様書

I 業務概要

1. 業務名称 高石消防署(高師浜出張所)改築工事設計業務委託
2. 業務期間 契約日から令和8年5月29日まで
3. 業務の目的 まもなく施設の耐用年数満了を迎える高石消防署(高師浜出張所)について、施設の耐久性や機能等の充実を図り、近年発生が懸念されている南海トラフ巨大地震を含めた各種災害発生時において、適切な災害対策機能が発揮できる消防施設として改築するため設計を行うものとする。

4. 設計の範囲

- (1)既存高石消防署(高師浜出張所)解体工事実施設計
 - ・既存消防庁舎解体設計及び隣地駐車场上屋解体設計 等
 - (2)高石消防署(高師浜出張所)改築工事基本設計・実施設計
 - ・消防庁舎改築設計及びそれに付帯する外構・歩道改修設計 等
- 【※工事施工中における高師浜出張所の仮運用は本市既存施設で行うため、仮設庁舎の設計は不要とする。】

5. 施設概要

(1)既存施設[解体対象施設]

- ・施設名称 : 高石消防署高師浜出張所
 - ・計画場所 : 高石市高師浜4丁目15-34
 - ・施設用途 : 消防署
 - ・建築年 : 昭和45年
 - ・建築面積 : 409.76㎡
 - ・延床面積 : 840.35㎡
 - ・階数 : 地下1階、地上2階建
 - ・構造 : RC造
- ※施工ヤード確保のための、東側隣地(月極駐車場)の上屋解体設計を含む。

[駐車场上屋]

- ・構造:S造(波板スレート葺)
- ・階数:平屋建て
- ・延床面積:約90㎡

(2)計画施設[改築対象施設]

- ・施設名称 : 高石消防署高師浜出張所
- ・計画場所 : 高石市高師浜4丁目15-34
- ・施設用途 : 消防署

6. 設計条件

(1)敷地条件

- 1)敷地面積:790.99 m²
- 2)用途地域:第二種中高層住居専用地域(建蔽率:60%/容積率:200%)
- 3)防火地域:準防火地域

(2)計画条件

高石消防署(高師浜出張所)整備基本計画(令和7年1月策定)に基づく

II 業務仕様

本特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計委託共通仕様書(令和3年度版)」「国土交通省官房官庁営繕部監修)及び「敷地調査共通仕様書(令和4年改定)」「国土交通省官房官庁営繕部)による。

1. 技術者の配置要件

(1)管理技術者

管理技術者は、公募型プロポーザルにおいて配置提案された者とし、建築士法第2条第2項に規定する一級建築士とする。

(2)担当技術者

担当技術者は、公募型プロポーザルにおいて配置提案された者とし、各業務分野にそれぞれ配置する。

[※各業務分野:意匠・構造・電気・機械の4業種]

2. 設計業務の範囲

(1)標準業務

標準業務は基本設計及び実施設計に関する標準業務とし、令和6年国土交通省告示第8号別添一第1項第一号のイ[基本設計に関する標準業務]及び第二号のイ[実施設計に関する標準業務]に掲げるものとする。

(2)追加業務

追加業務は以下に示す業務とする。

1)積算業務

- ・積算数量算出書の作成
- ・単価作成資料の作成
- ・見積収集
- ・見積検討資料の作成

2)建築確認申請等に関する手続業務

3)地質調査業務[※基本設計業務時に実施する]

4)アスベスト含有調査業務[※基本設計業務時に実施する]

5)透視図作成業務(外観・内観:計3カット程度)

(3)設計基準等

設計・計画基準及び積算基準は以下に示す基準とする。

1)設計・計画基準

- ・建築設計基準(令和6年改定)
- ・建築構造設計基準(令和3年改定)
- ・建築設備計画基準(令和6年改定)
- ・建築設備設計基準(令和6年改定)
- ・構内舗装・排水設計基準(平成27年制定)
- ・雨水利用・排水再利用設備計画基準(平成28年版)

2)積算基準

- ・公共建築工事積算基準(平成28年改定)
- ・公共建築工事標準単価積算基準(令和6年改定)
- ・公共建築数量積算基準(令和5年改定)
- ・公共建築設備数量積算基準(令和5年改定)
- ・公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)

(4)調査業務の特記事項

1)地質調査業務

- ア 調査方法 : 標準貫入試験
- イ 調査箇所 : 2箇所(任意)
- ウ 調査深度 : GL-15m程度

2)アスベスト含有調査業務

- ア 分析基準 : 石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】(令和4年3月:厚生労働省)
- イ 調査対象 : 既存施設においてアスベスト含有が見込まれる箇所

箇所	資材
屋根材	スレート波板
外壁吹付材	アクリル系リシン
床材	ビニアスタイル t=2.0
	パーケットモザイク張り
天井材	耐火ボード t=9.0(ケイ酸カルシウム板)
	木毛板[リシン吹付]t=25
	石綿板 t=4.0
	吸音プラスターボード
※上記は見込み箇所のため、調査対象とする箇所は、本市調査職員と現地調査及び協議の上決定する。	

3. その他特記事項

- (1)当該施設の設計業務について本市要望を網羅し、都市計画法・建築基準法・消防法・下水道法・道路法・電気事業法・ガス事業法・労働基準法・労働安全衛生法・その他関係法令による他、本市各種要綱等にも準拠し、自らの責任において遺漏のないよう業務を実施すること。
- (2)設計業務にあたっては現地を十分に調査し、設計図書作成の際は本市調査職員と十分協議し、遺漏のないよう業務を実施すること。
- (3)計画施設に必要な消防指令に関する固定式の通信機器等の設置、事務備品(机・椅子・ロッカー等)などの設置については、本業務の設計範囲とする。
- (4)発注者と定期的に打合せ会議を実施し、その際は管理技術者及び各担当技術者が出席する。
- (5)専門性の高い施設であるため、発注者が求める場合は堺市消防局と設計内容の協議・調整を行うこと。

[堺市消防局 所在地 : 堺市堺区大浜南町3丁目2-5]

- (6)建築確認申請等に係る申請手数料については別途支給する。
- (7)工事費概算は令和7年10月31日(金)までに提出する。
- (8)工事共通仕様書は以下による。

国土交通大臣官房官庁営繕部監修

- ・公共建築工事標準仕様書(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)
- ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事・電気設備工事・機械設備工事)
- ・建築物解体工事共通仕様書・同解説

(※上記仕様書等は全て最新版とする。)

4. 貸与品

本業務において、下記の参考資料を貸与するものとする。(※受注者が参考資料を貸与された場合は、速やかに発注者へ借用書を提出すること。)

- ・高石消防署(高師浜出張所)竣工図面 (※既存解体対象施設/S45 竣工)
- ・計画地平面測量調査資料
- ・消防署所建設基準(堺市消防局:令和7年3月改正)
- ・その他業務実施に必要と認める参考資料

5. 成果物

(1)基本設計

設計の種類		成果図書	形式	部数
[1] 総合		① 計画説明書 ② 仕様概要書 ③ 仕上概要表 ④ 面積表及び求積図 ⑤ 敷地案内図 ⑥ 配置図 ⑦ 平面図(各階) ⑧ 断面図 ⑨ 立面図	A3	5部
[2] 構造		① 構造計画説明書 ② 構造設計概要書	A3	5部
[3] 設備	(i)電気設備	① 電気設備計画説明書 ② 電気設備設計概要書 ③ 各種技術資料	A3	5部
	(ii)給排水衛生設備	① 給排水衛生設備計画説明書 ② 給排水衛生設備設計概要書 ③ 各種技術資料	A3	5部
	(iii)空調換気設備	① 空調換気設備計画説明書 ② 空調換気設備設計概要書 ③ 各種技術資料	A3	5部
	(iv)昇降機等	① 昇降機等計画説明書 ② 昇降機等設計概要書 ③ 各種技術資料	A3	5部
[4] 外構		① 外構計画説明書 ② 外構設計概要書 ③ 歩道改修設計概要書 ④ 各種技術資料	A3	5部
[5] その他		① 工事費概算書(各工種) ② 地盤調査結果 ③ アスベスト含有調査結果 ④ 打合せ記録簿	A4	2部

(注) 1:建築物の計画に応じて作成されない図書がある場合がある。

2:設計図は、必要に応じて適宜追加できる。

3:「計画説明書」には、設計趣旨及び計画概要に関する記載を含む。

4:「設計概要書」には、仕様概要及び計画図に関する記載を含む。

5:成果物は、発注者の指示により製本又はファイル綴じにして提出する。

6:成果物のデータは、発注者の指示によるデータ形式により CD-R 等の電子記録媒体にて提出する。

[※CAD データの形式は、JWW 又は DXF とする。]

(2)実施設計

設計の種類		成果図書	形式	部数
[1] 総合		① 建築物概要書 ② 特記仕様書 ③ 仕上表 ④ 面積表及び求積図 ⑤ 敷地案内図 ⑥ 配置図 ⑦ 平面図(各階) ⑧ 断面図 ⑨ 立面図(各面) ⑩ 矩計図 ⑪ 展開図 ⑫ 天井伏図(各階) ⑬ 平面詳細図 ⑭ 部分詳細図 ⑮ 建具表 ⑯ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
[2] 構造		① 特記仕様書 ② 構造基準図 ③ 伏図(各階) ④ 軸組図 ⑤ 部材断面表 ⑥ 部分詳細図 ⑦ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
[3] 設備	(i)電気設備	① 特記仕様書 ② 配置図 ③ 受変電設備図 ④ 非常電源設備図 ⑤ 幹線系統図 ⑥ 電灯、コンセント設備平面図(各階) ⑦ 動力設備平面図 ⑧ 通信・情報設備系統図 ⑨ 通信・情報設備平面図(各階) ⑩ 火災報知等設備系統図 ⑪ 火災報知等設備平面図(各階) ⑫ その他設置設備設計図 ⑬ 屋外設備図 ⑭ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
	(ii)給排水衛生設備	① 特記仕様書 ② 配置図 ③ 給排水衛生設備配管系統図 ④ 給排水衛生設備配管平面図(各階) ⑤ 消火設備系統図	A3	5部

		⑥ 消火設備平面図(各階) ⑦ 排水処理設備図 ⑧ その他設置設備設計図 ⑨ 部分詳細図 ⑩ 屋外設備図 ⑪ その他確認申請・工事に必要な図書		
	(iii)空調換気設備	① 特記仕様書 ② 配置図 ③ 空調設備系統図 ④ 空調設備平面図(各階) ⑤ 換気設備系統図 ⑥ 換気設備平面図(各階) ⑦ その他設置設備設計図 ⑧ 部分詳細図 ⑨ 屋外設備図 ⑩ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
	(iv)昇降機等	① 特記仕様書 ② 配置図 ③ 昇降機等平面図 ④ 昇降機等断面図 ⑤ 部分詳細図 ⑥ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
[4]	外構	① 特記仕様書 ② 平面図(外構・歩道) ③ 部分詳細図(外構・歩道) ④ その他確認申請・工事に必要な図書	A3	5部
[5]	その他	① 建築確認申請書(副本) ② 工事費内訳明細書(採用単価根拠共) ③ 数量積算書 ④ 各種計算書(構造計算書 等) ⑤ 概略工程表 ⑥ 透視図(3カット程度) ⑦ 打合せ記録簿	- A4 // // A3 // A4	- 2部 // // // 5部 2部

(注) 1:建築物の計画に応じて作成されない図書がある場合がある。

2:設計図は、必要に応じて適宜追加できる。

3:成果物は、発注者の指示により製本又はファイル綴じにして提出する。

4:成果物のデータは、発注者の指示によるデータ形式により CD-R 等の電子記録媒体にて提出する。

[※CAD データの形式は、JWW 又は DXF とする。]

(3)調査業務

調査業務の種類	成果図書	形式	部数
[1] 地質調査業務	① 調査結果報告書 ② 土質標本 ③ その他技術資料	A4	2部
[2] アスベスト含有調査業務	① 調査結果報告書 ② その他技術資料	A4	2部

(注) 1:成果物は、ファイル綴じにして提出する。

2:成果物のデータは、発注者の指示によるデータ形式により CD-R 等の電子記録媒体にて提出する。

6. 対象区域図

